

雪に関する相談窓口

除雪等、雪に関するご相談がありましたら、下記の担当にご連絡ください。

相談の内容により、担当部署に電話を転送することがあります。また、土・日曜日、祝日等の休日は、日直が電話をお取り次ぎしますが、すぐに対応できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

道路除雪・流雪溝に関すること

平日 8:30~17:15	建設課（角館流雪溝を除く）	☎43-2294
	角館流雪溝については角館地域センターへ	☎43-3309
休日 8:30~17:15	田沢湖（日直取次）	☎43-1111
	角館（日直取次）	☎43-3309
	西木（日直取次）	☎43-2200
夜間 17:15~翌8:30	田沢湖（当直取次）	☎43-1111
	角館（当直取次）	☎43-3309
	西木（西木地域センター）	☎080-1679-8248

高齢者世帯等除排雪支援に関すること

平日 8:30~17:15	長寿支援課	☎43-2281
------------------	-------	----------

雪害、その他災害等に関する緊急時

平日 8:30~17:15	総合防災課	☎43-1115
夜間・休日	田沢湖（当直取次）	☎43-1111
	角館（当直取次）	☎43-3309
	西木（西木地域センター）	☎080-1679-8248

仙北市のちいきのわだいに

ちいきのわだいに

11月26日
市役所田沢湖庁舎
仙北市と秋田大学が連携協定結ぶ
地域社会への貢献を目指し協力体制

秋田大学と仙北市は、お互いの機能や資源を有効に活用し、幅広い分野で地域社会に貢献することを目的とした連携協定を結びました。11月26日、市役所田沢湖庁舎で締結式が行われ、澤田賢一学長、門脇市長と、立会人として青柳議長が協定書にサインを交わしました。

協定書を前に協力を誓う（写真右から）門脇市長、澤田学長、青柳議長。様々な分野での効果が期待されます。



国際資源学部 石山大三教授の講演では、玉川水系の特徴を実験で見せながらわかりやすく説明。



主な協定連携事項は「田沢湖再生に係る調査研究・教育活動に関すること」「教育・文化・芸術の振興に関すること」で、大学では6月に田沢湖湖底研究所が設置されていて、協定締結を機会に田沢湖再生への研究などが進むものと期待されます。当日は協定締結を記念し田沢湖総合開発センターで秋田大学ニューブラッサンサンプルの演奏会や研究所所長でもある石山大三教授（国際資源学部）の講演「玉川水系の河川水の特徴」も行われました。

協定締結記念演奏会では、秋田大学ニューブラッサンサンプルの皆さんが、すばらしい演奏を披露しました。



11月19日
角館中学校

秋田県租税教育推進協議会 租税教室で税を身近に

11月19日、角館中学校の3年生を対象に租税教室が行われました。今回の教室では、「生徒が通学で使う橋が壊れた」という設定のもと、橋の修繕費用を税金で支払う場合、各家庭にかかる税率を所得や世帯構成など様々なケースで考えながらその仕組みについて学びました。講師を務めた秋田南税務署 泉健一さんは「税金の使われ方など税を身近な問題として捉え、興味をもってほしい」と話しました。

参加した生徒から積極的な意見交換や発表が行われました。

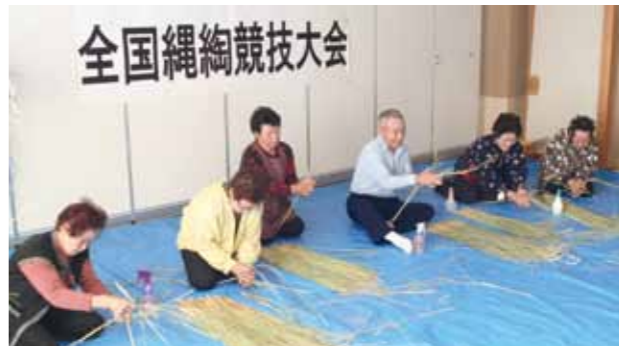


11月23日
花葉館

第6回全国縄綱競技大会 大会続け紡いだ縄が1万メートルに到達



上…1万円達成を参加者、関係者が祝いました。下…10分間で長さを競う個人戦と3人1組(1人5分)で競う団体戦が行われ、会場では賑やかな応援のかけ声が飛び交いました。



11月23日、花葉館で平成縄綱塾が主催する全国縄綱競技大会が行われました。第6回の開催となった今大会は、「花葉館祭り」と併せて行われ、参加者60人が個人戦と団体戦でその自慢の腕前を競いました。

平成15年に西長野地区運動会で行われた「縄ないリレー」をきっかけに、地域を盛り上げる活動の一つにと開催されてきたこの大会。今回の大会中に皆さんが紡いだ縄の長さが1万メートルを超

え、大会関係者、参加者の皆さんでの記録を喜び合いました。

主催する平成縄綱塾の菅原誠晃塾長は「皆さんのおかげで大きな目標の1万メートルに達した。これからも縄綱の技術を伝えていきたい」と話しました。大会成績(敬称略)
個人の部 優勝 伊藤サダ子(由利本荘市) 団体の部 優勝 伊藤サダ子・佐々木昭子(由利本荘市) 伊藤正一(横手市)

11月8・9日
山形県

第23回全国小学生選手権大会出場 仙北市バドミントンJr.



東北大会で活躍した鈴木怜奈さん。

スズキ杯 東北小学生 抗バドミントン大会

11月8・9日に山形県山形市で行われた第12回東北小学生県対抗バドミントン大会に、仙北市バドミントンJr.で活動する鈴木怜奈さん(田沢湖)が、秋田県女子チームの一員として出場しました。
鈴木さんの活躍もあり秋田県女子チームは見事に優勝し、大会二連覇を達成しました。チームは12月25日から新潟県で行われる第23回全国小学生選手権大会に出場します。鈴木さんのさらなる活躍を期待します。

鈴木怜奈さん

11月27日
仙北市

救助資機材搭載型小型動力ポンプ積載車 仙北市消防団へ配備

11月27日に総務省消防庁から、救助資機材を搭載した小型動力ポンプ積載車が仙北市消防団に無償貸与され、第3分団に配備されました。

12月7日には第3分団の皆さんが、車両に搭載されている救助資機材について、田沢湖分署職員から指導を受けた後、火山噴火を想定した防災訓練を実施。車両に積載している担架やAED等を実際に使用しながら、真剣な面持ちで訓練に取り組んでいました。



上：救助資機材を使つての救助訓練。右：配備になった車両は消火・救助資機材を積載、装備している多機能型。

11月19日
西木温泉クリオン

仙北市身体障害者福祉大会 元氣な笑い声響く

11月19日、仙北市身体障害者福祉大会が、西木温泉クリオンで開催されました。仙北市身体障害者協会 小杉英夫会長のあいさつその後、同協会の発展に長年に渡り尽力した功績を讃え、鈴木緑さん、加藤多一さんの2人が表彰されました。

式典後に行われた講話では講師の佐川篤さんが秋田万歳(あきたまんざい)を披露。漫談や落語など佐川さんの多彩な芸に会場からは笑い声があがりま



佐川さんの多彩な芸で笑いの絶えない和やかな講話となりました。

11月15日
角館交流センター

藤田ゆうみんさんと考えるちょっと先の仙北市 秋田に住む人が秋田に誇りをもつて

11月15日、「国民文化祭・あきた2014テーマソング」のポータルやラジオパーソナリティとして活躍する藤田ゆうみんさん(秋田市)とこれからの仙北市について考えるトークイベントが角館交流センターで開催され、市民ら約50人が参加しました。

藤田さんは「県外で暮らし、自分が秋田のことを全然知らなかったことややっぱり秋田が好きだと気付いた」と地元に対する思いを語りました。「DJになる夢を追っているうちに、その夢を自分が叶え、秋田の人でも叶うことを証明したかった」と地元にも勇気や希望を与えたい、秋田のためにがんばりたいと考えるようになった藤田さん



藤田ゆうみんさん。

「秋田に住む人が秋田に誇りをもつて自慢してもらいたい」と話しました。パネルディスカッションでは、元保育士や、現在子育て中のパネラーが、ライフ・ワーク・バランス(仕事と生活の調和)について自身の考えを話しました。また、起業を目指す仙北市に住む女性によるチャレンジマーケットも開催され、パンやデザート、子ども用品や雑貨などが会場に並びました。

7月・10月~11月
仙北市内

仙北市交通安全母の会 交通安全意識啓発運動展開



交通安全に反射シールなどの利用を呼びかける交通安全母の会会員。

仙北市交通安全母の会では、今年も秋田県交通安全母の会連合会と合同で、地域の皆さんに交通安全への意識啓発運動を展開しました。7月には夏休みを間近に控えた市内全小学校3年生の各学級を訪問し、交通安全基礎知識を指導しました。10月、11月には市内の1人暮らしの方や2人暮らしの高齢者世帯、約700世帯を訪れて交通安全を呼びかけました。
これから本格的な冬を迎えます。交通事故防止に一層のご協力をお願いします。



パネルディスカッションで、仕事と生活の調和について意見が交わされました。



様々な商品が並んだチャレンジマーケット。